

平成19年2月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年1月17日

上場会社名 株式会社カンセキ

(JASDAQ・コード番号: 9903)

(URL <http://www.kanseki.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 服部 吉雄

責任者役職・氏名 執行役員 経理部長 高橋 利明 TEL: (028) 659-3112

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) たな卸資産については、実地たな卸を省略しております。
 その他影響額が僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (内容) 当事業年度から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年2月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年3月1日～平成18年11月30日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年2月期第3四半期	24,086	(0.6)	651	(—)	250	(—)	△165	(—)
18年2月期第3四半期	23,932	(1.9)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考)18年2月期	31,690		647		88		51	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年2月期第3四半期	△10 99	—
18年2月期第3四半期	—	—
(参考)18年2月期	3 40	—

(注) 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。売上高以外の項目につきましては、当四半期より開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率は(—)としております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成18年3月1日～平成18年11月30日)は、景気への影響が懸念される材料として原油価格の高騰や金利上昇などあるものの、企業収益の改善、雇用情勢の好転、設備投資の増加が引続きみられ、回復基調にあります。しかし、当社が営業展開するドミナントエリア内において、同業態のみならず異業態との競争激化等の影響など当社を取巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。このような中、当社は「収益力の向上」「財務体質の改善」「規模拡大に向けた体制作り」を目指しております。

ホームセンター事業は、利益率の向上により利益計画に対し順調に推移しております。また、平成18年11月24日、茨城県龍ヶ崎市内に4年8ヶ月ぶりとなる新規出店をいたしました。この出店によりホームセンター店舗数は、30店舗となりました。

WILD-1事業は、会員向けカードのWILD-1カードに株JCBとの提携カードを4月に発行しお客様の利便性の向上を計るとともにWILD-1トラベルサービスによるイベントツアーを提案しお客様の固定化に注力いたしました。

業務スーパー事業は高品質、かつ毎日が低価格をコンセプトにお客様へ冷凍食材を中心に提供しております。業務スーパー各店舗は地域へ更に深耕を深め当社の栃木県内におけるドミナント化の重要な戦略業態として順調に成長しております。

リユース・リサイクル事業であるオフハウス事業につきましては、平成18年4月に7店舗目のオフハウス黒磯店を開店し、堅調に推移しております。

その結果、売上高は24,086百万円(前年同四半期期比0.6%増)、経常利益は250百万円、当期より「固定資産の減損に係る会計基準」を適用することに伴い291百万円の減損損失を特別損失に計上したことにより四半期純損失165百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 た り 純 資 産
	百万円	百万円	百万円	円 銭
19年2月期第3四半期	30,138	4,208	14.0	280 86
18年2月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年2月期	30,781	4,450	14.5	295 18

【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年2月期第3四半期	1,929	△39	△1,773	1,069
18年2月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年2月期	633	△165	△592	952

[財政状況の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産は30,138百万円となり、前事業年度末と比べ643百万円の減少となりました。これは主に、減価償却及び減損損失の計上等により有形固定資産が382百万円減少したこと及び差入保証金の払戻し等により投資その他の資産が252百万円減少したためであります。

負債は25,929百万円となり、前事業年度末と比べ402百万円の減少となりました。これは主に流動負債が614百万円増加したこと及び借入金の返済等により固定負債が1,016百万円減少したためであります。

純資産は4,208百万円となり前事業年度末と比べ241百万円の減少となりました。これは主に減損損失計上に伴う四半期純損失165百万円及び期末利益配当金の支払によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ116百万円増加して1,069百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,929百万円となりました。

これは主に仕入債務の増加1,155百万円及びたな卸資産の減少301百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、39百万円となりました。

これは有形固定資産の取得による支出188百万円、保証金・敷金の取得及び払戻との相殺後の純額であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,773百万円となりました。

これは主に借入金の返済によるものであります。

○ 添付資料

(要約) 四半期貸借対照表

(要約) 四半期損益計算書 など

[参 考]

19年2月期の業績予想 (平成18年3月1日～平成19年2月28日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	31,700	260	△160

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) △10円68銭

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想と異なる場合があります。

以 上

[添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成19年2月期第3四半期末)	(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	1,131,710	1,014,875
2. 売掛金	232,644	133,919
3. たな卸資産	5,668,942	5,899,372
4. その他	720,473	692,257
流動資産合計	7,753,770	7,740,424
II 固定資産		
1. 有形固定資産	16,965,435	17,347,911
2. 無形固定資産	700,747	716,023
3. 投資その他の資産	4,711,559	4,963,982
固定資産合計	22,377,743	23,027,917
III 繰延資産	6,579	13,494
資産合計	30,138,093	30,781,836
(負債の部)		
I 流動負債		
1. 支払手形	1,698,597	1,506,569
2. 買掛金	2,805,359	1,913,101
3. 短期借入金	6,958,505	7,682,343
4. 一年内償還予定の社債	106,000	106,000
5. その他	711,852	458,254
流動負債合計	12,280,314	11,666,267
II 固定負債		
1. 社債	371,000	449,000
2. 長期借入金	11,424,332	12,341,186
3. その他	1,853,777	1,875,279
固定負債合計	13,649,109	14,665,465
負債合計	25,929,424	26,331,732

(注) 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

科 目	当四半期 (平成19年2月期第3四半期末)	(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額
(純資産の部)		
I 株主資本		
1. 資本金	1,926,000	—
2. 資本剰余金	1,864,000	—
3. 利益剰余金	599,924	—
4. 自己株式	△200,097	—
株主資本合計	4,189,826	—
II 評価・換算差額等	18,842	—
純資産合計	4,208,668	—
負債・純資産合計	30,138,093	—
(資本の部)		
I 資本金	—	1,926,000
II 資本剰余金	—	1,864,000
III 利益剰余金	—	802,793
IV その他有価証券評価差額金	—	39,955
V 自己株式	—	△182,645
資本合計	—	4,450,103
負債・資本合計	—	30,781,836

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科目	当四半期 (平成19年2月期第3四半期)	(参考) 平成18年2月期
	金額	金額
I 売上高	24,086,108	31,690,967
II 売上原価	17,617,935	23,316,926
売上総利益	6,468,173	8,374,040
III 営業収入	1,058,988	1,408,267
営業総利益	7,527,161	9,782,307
IV 販売費及び一般管理費	6,876,078	9,134,845
営業利益	651,083	647,462
V 営業外収益	20,633	43,578
VI 営業外費用	421,690	602,628
経常利益	250,025	88,411
VII 特別利益	—	42,065
VIII 特別損失	316,020	48,252
税金等調整前四半期純損失(△)又は 税金等調整前当期純利益	△65,995	82,225
税金費用	99,184	30,794
四半期純損失(△)又は当期純利益	△165,179	51,430

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	当四半期 (平成19年2月期第3四半期)	(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税引前四半期純損失(△)又は 税引前当期純利益	△65,995	82,225
2. 減価償却費	353,567	520,192
3. 減損損失	291,447	—
4. 支払利息	413,485	589,967
5. たな卸資産の減少額(△増加額)	230,430	△70,718
6. 仕入債務の増加額(△減少額)	1,084,286	△71,115
7. その他	50,737	174,533
小 計	2,357,959	1,225,085
8. 利息の支払額	△410,368	△582,350
9. その他	△18,562	△9,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,929,028	633,133
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 有形固定資産の取得による支出	△188,992	△409,565
2. 保証金・敷金の取得による支出	△37,737	△77,141
3. 保証金・敷金の回収による収入	277,810	394,791
4. 預り保証金・敷金の払戻による支出	△65,409	△63,612
5. 預り保証金・敷金の取得による収入	2,660	25,228
6. その他	△27,506	△35,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,176	△165,566
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純減少額	538,949	△2,459,175
2. 長期借入れによる収入	—	2,890,000
3. 長期借入金の返済による支出	△2,179,641	△1,213,156
4. 社債の発行による収入	—	262,175
5. 社債の償還による支出	△78,000	△56,000
6. 自己株式の取得による支出	△17,452	△15,936
7. 配当金の支払額	△36,872	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,773,017	△592,092
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額	116,835	△124,524
VI 現金及び現金同等物の期首残高	952,369	1,076,894
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,069,204	952,369

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。